<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	対外戦略推進室

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【重点】マーケティングの強化とブランディングの推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	農林水産業産出額	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,676	1,684	1,691	1,700
現況値	1,674億円/年	実績値	2,078			
目標値	1,700億円/年	達成率(%)	124.0			
備考		達成度	5			

指標名	県産果物の首都圏及び関西圏販売金額	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	59	61	62	64
現況値	59億円/年	実績値	56			
目標値	64億円/年	達成率(%)	94.9			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・首都圏トップブランド事業
・県産果物関西プロモーション事業
・冬も春も！「くだもの王国おかやま」晴苺プロジェクト事業
・産地ブランド育成事業
・推し！のおかやま園芸産地育成事業
・岡山米販売力強化支援事業
・畜産物銘柄推進事業
・未来へつなげ！蒜山ジャージー酪農基盤強化事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

首都圏では、百貨店や高級果物専門店でのPR販売に加え、スイーツ店と連携した取組を実施することにより、新たな販路開拓とブランド力の強化を進めた。関西圏では、百貨店等でのPR販売を行うとともに、大阪・関西万博での試食PR等に取り組むことにより、国内外へのさらなる認知度向上を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

首都圏や関西圏を中心に、マーケットインの視点に立った新たな販路開拓を進めるとともに、市場等と連携した効果的なプロモーションの展開や戦略的な情報発信に取り組むことにより、岡山ブランドのさらなる価値向上を図る必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	対外戦略推進室
重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【重点】海外でのブランド確立による輸出拡大		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	県産果物の輸出金額	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	12.6	13.0	13.4	13.8
現況値	11.8億円/年	実績値	10.6			
目標値	13.8億円/年	達成率（%）	84.1			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・海外トップブランド事業
・県産農林水産物販売促進総合対策事業
・岡山農林水産物知的財産保護活用事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

台湾や香港の現地百貨店等において県産果物のPR販売を実施するとともに、新たな市場開拓に向けて、海外バイヤーを招聘した産地見学会を開催するなど、県産果物の輸出拡大に向けた取組を進めた。

6 今後の施策推進に向けての課題

重点市場の台湾、香港、シンガポールを中心に積極的なプロモーションを展開するとともに、今後有望な国・地域での販路開拓を進めることにより、県産果物の輸出拡大とさらなるブランド化を進める必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	農産課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【重点】桃、ぶどう、晴苺の供給力の強化

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	桃、ぶどう、晴苺の栽培面積	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,920	1,924	1,927	1,930
現況値	1,914ha	実績値	1,920			
目標値	1,930ha	達成率（%）	100.0			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・岡山ハイブリッド産地育成加速化事業
・白桃産地次代創造事業
・岡山ぶどう産地強靭化事業
・冬も春も！「くだもの王国おかやま」晴苺プロジェクト事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

新たな園地の整備やハウス、果樹棚の導入等による面積拡大、省力化機械の導入、気候変動対策等の取組を支援した結果、桃、ぶどう、晴苺の供給力強化が図られた。

6 今後の施策推進に向けての課題

新規就農者の確保や産地の担い手による規模拡大を図るとともに、省力化につながるスマート農業技術の導入や園地の集積・集約化、栽培技術の継承等による産地の維持・発展に、引き続き取り組む必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	農産課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【重点】次代を担う力強い担い手の確保・育成

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	認定農業者の法人数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	483	493	503	513
現況値	463法人	実績値	496			
目標値	513法人	達成率（%）	102.7			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・おかやま農業担い手確保・育成プログラム構築事業
・担い手確保・育成対策事業
・酪農担い手確保対策事業
・おかやまの森林・林業を支える担い手対策事業
・青年漁業者育成確保促進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

法人化意向のある農業者に対して、普及指導センターが経営診断等を実施し、助言するとともに、必要に応じて、農業経営・就農支援センターから専門家を派遣するなど伴走支援を実施し、法人化研修を体系的に実施することで法人化が進んだ。
また、酪農教育事業の支援や林業従事者・漁村リーダーの育成等に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

担い手の経営規模拡大に伴い、法人化のニーズが高まっていることから、引き続き、専門家派遣などの伴走支援や法人化に関する体系的な研修を実施する必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	農産課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【重点】生産性の高い農業の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	農林水産業産出額	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,676	1,684	1,691	1,700
現況値	1,674億円/年	実績値	2,078			
目標値	1,700億円/年	達成率(%)	124.0			
備考		達成度	5			

指標名	桃、ぶどう、晴苺の栽培面積	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,920	1,924	1,927	1,930
現況値	1,914ha	実績値	1,920			
目標値	1,930ha	達成率(%)	100.0			
備考		達成度	4			

指標名	認定農業者の法人数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	483	493	503	513
現況値	463法人	実績値	496			
目標値	513法人	達成率(%)	102.7			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・岡山ハイブリッド産地育成加速化事業
・スマート農業総合対策推進事業
・水田農業の担い手育成対策事業
・農地中間管理事業

4 施策達成レベル

4.3	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

ハイブリッド産地の育成等による産地規模の拡大や、スマート農業機器の導入支援による生産性向上が図られた。

6 今後の施策推進に向けての課題

農業従事者の高齢化や減少等による農業労働力不足が進む中、引き続きスマート農業機器の導入等による生産性の高い農業を推進していく必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	畜産課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【推進】畜産物の生産振興

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	肉用牛（肥育牛）の出荷頭数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	14,740	14,860	14,980	15,100
現況値	14,499頭/年	実績値	14,578			
目標値	15,100頭/年	達成率（%）	98.9			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・肉用牛生産条件特別整備事業
・肉畜生産経営安定特別対策事業（肉用牛肥育経営安定特別対策事業】
・肉用牛広域後代検定推進事業
・伝統の「岡山和牛」再発見事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

優良雌牛群の整備、畜舎整備等生産基盤の強化による生産基盤整備を進めるとともに、価格安定対策事業に係る積み立て支援を行うことにより、厳しい情勢の中で約99%の達成率を確保することができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

飼料、燃料、肥料等価格の高騰が生産者の経営に大きな影響を与えている中で、畜産経営を発展継続し、畜産物の安定供給を図っていくためには、引き続き家畜改良による生産性の向上や施設整備による生産基盤強化、価格安定対策等の支援が重要である。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	林政課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【推進】持続的な森林経営の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	県産材の生産量	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	590	600	610	620
現況値	588千㎥/年	実績値	691			
目標値	620千㎥/年	達成率（%）	117.1			
備考		達成度	5			

3 関連する事業名

・県産材需要拡大対策事業
・森林クラウドを活用した新たな森林管理システム支援事業
・おかやま元気な森づくり推進事業
・持続可能な森林経営強化支援事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

森林経営管理制度を担う市町村を支援するため、航空レーザー計測データや人工衛星画像を用いた森林計画図等の整備など森林クラウドを充実するとともに、森林経営の集約化や間伐、高性能林業機械の導入、路網の整備、花粉の飛散低減に配慮した再造林への支援等により、間伐2,742ha、作業道169,481m、再造林199haを実施した。また、県産材の利用促進のため、国内外での販路拡大の取組や県産材による木造・木質化等への支援、木質バイオマスの利用推進などの施策を総合的に進めた結果、県産材の生産量は前年度より増加し、目標値を超える実績となり、素材生産量も過去最高の生産量となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

人工林資源は年々充実し本格的な利用期を迎えており、林業生産活動を通じた林業サイクルの循環の推進がますます重要となっている。森林経営管理制度の確実な実施のための市町村職員や林業経営体の育成、再造林率の向上に加え、人口減少による住宅着工戸数の減少が見込まれる中、木造率の低い非住宅や中高層建築物への県産材利用の推進が求められる。そのため、引き続き、森林クラウドの充実、間伐等の適切な森林整備、主伐や利用間伐、少花粉苗木による再造林の推進とともに、森林認証材やJAS製品、CLT等の普及、販路拡大などによる循環資源である木材・木質バイオマスの利用を推進する必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	水産課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【推進】水産物の生産振興と消費拡大

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	カキ養殖業1経営体当たりの生産額	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	2,208	2,230	2,252	2,270
現況値	2,186万円/年	実績値	2,370			
目標値	2,270万円/年	達成率（%）	107.3			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・岡山かき販売促進加速化事業
・漁場環境モニタリング調査
・かきへい死原因の究明と環境変化に適応した養殖方法の検討

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

県産カキの取扱額が減少している中京圏において、取扱額の増加を図るため、「岡山かき」フェアを百貨店や高級スーパー等27店舗で実施し、併せて生産者や県職員が対面販売を行った。
また、漁場環境の変化や漁業資源の減少に対応するため、水産物の持続的な利用に向けた環境調査やカキの身入り向上を目的とした試験養殖、食害対策試験に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

引き続き、中京圏での「岡山かき」のPRキャンペーン等を開催し、販路開拓を進める必要がある。
また、カキの安定生産に不可欠な漁場環境に関する定期モニタリングや、昨年度発生したカキ大量へい死の原因究明や成育状況調査など、安定生産に向けた試験に引き続き取り組む必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	農林水産総合センター
重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【推進】6次産業化の推進		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	デジタル技術を活用する6次産業化事業者の割合	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	44.1	46.2	48.3	50.0
現況値	39.3%	実績値	46.8			
目標値	50.0%	達成率（%）	106.1			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・DXを活用した6次化商品販売力強化事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

オンライン需要に対応するため、デジタル技術の活用に関する講座の開催や6次産業化事業者の要望に応じた専門家派遣、ECサイトでの販売を通じたデジタルマーケティングによる販売力向上の支援を実施した。その結果、デジタル技術を活用した6次産業化事業者の割合は、目標を上回る成果となっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

関係機関と連携し、6次産業化事業者の発展段階に合わせたきめ細かな支援を継続するとともに、デジタル技術を活かした販売力の強化や経営発展に取り組む事業者の更なる育成を行い、6次産業化事業者の所得向上や地域振興を図る。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	耕地課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【推進】農林水産業を支える生産基盤の整備と長寿命化対策の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	基幹的な土地改良施設の長寿命化対策着手率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	33.8	35.5	37.3	39.0
現況値	30.3%	実績値	35.0			
目標値	39.0%	達成率（%）	103.5			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・基幹水利施設ストックマネジメント事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

既存施設の機能確保など、基幹的な土地改良施設の保全対策を計画的に進めることにより、産地の持続的発展につながっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後、耐用年数を超える施設が増える中、限られた予算で保全対策を推進するためには、施設管理者等との更なる連携を図り、重要度や緊急度に応じて計画的に対策を進める必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

		担当部課室	農産課
重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【推進】農業生産資材への地域資源の活用		

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	耕畜連携による飼料用作物等の作付面積	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	2,386	2,415	2,445	2,475
現況値	2,356ha/年	実績値	2,468			
目標値	2,475ha/年	達成率（%）	103.4			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・高収益作物等導入支援事業
・水田飼料作付拡大事業
・耕畜連携体制強化対策事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

飼料作物の生産者（耕種農家）と利用者（畜産農家）とのマッチングとあわせ、収穫作業を担う組織（コントラクター）や関係機関も含めた意見交換を実施するとともに、県産飼料の生産・利用に必要な機械導入等を進めた結果、新たに水田を活用した飼料作物等の作付が87ha拡大した。

6 今後の施策推進に向けての課題

水田を活用した飼料作物等の作付は、主食用米の価格に大きく影響される。令和9年度に国の水田政策が大きく見直されることから、新たな制度に沿った飼料作付の拡大を図るとともに、飼料品質の向上のための技術指導や耕種農家と畜産農家相互の交流を進め、県産飼料の生産と利用の促進を図る。